

# ＜成長戦略会議ご参考資料＞

## 中小企業政策の考え方について

2020年11月19日  
日本商工会議所

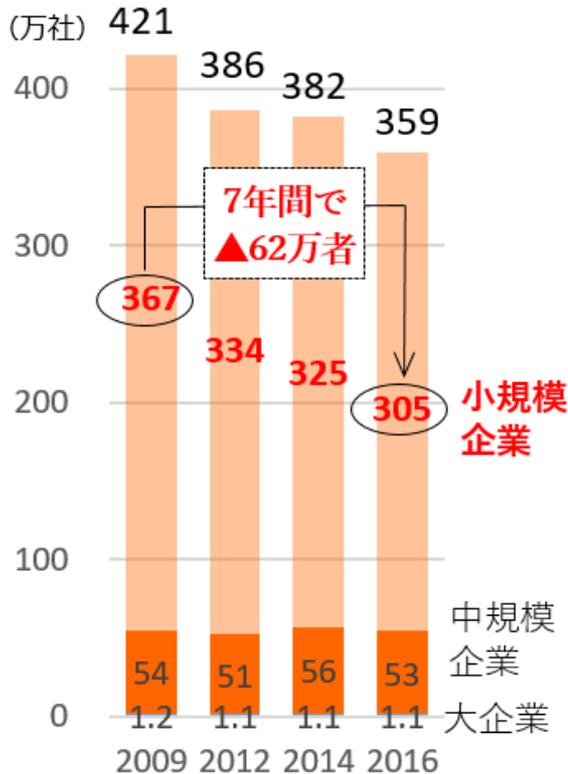
# 中小企業の新陳代謝 と 休廃業企業の利益率分布

(1) 市場原理に基づく小規模企業の新陳代謝は、着実に進行している。

※2009～2016年：平均 約▲9万者/年 の減少。

(2) 休廃業・解散企業の52%は黒字企業、経常利益率10%以上が14.5%、経常利益率20%以上が5.6%を占める。

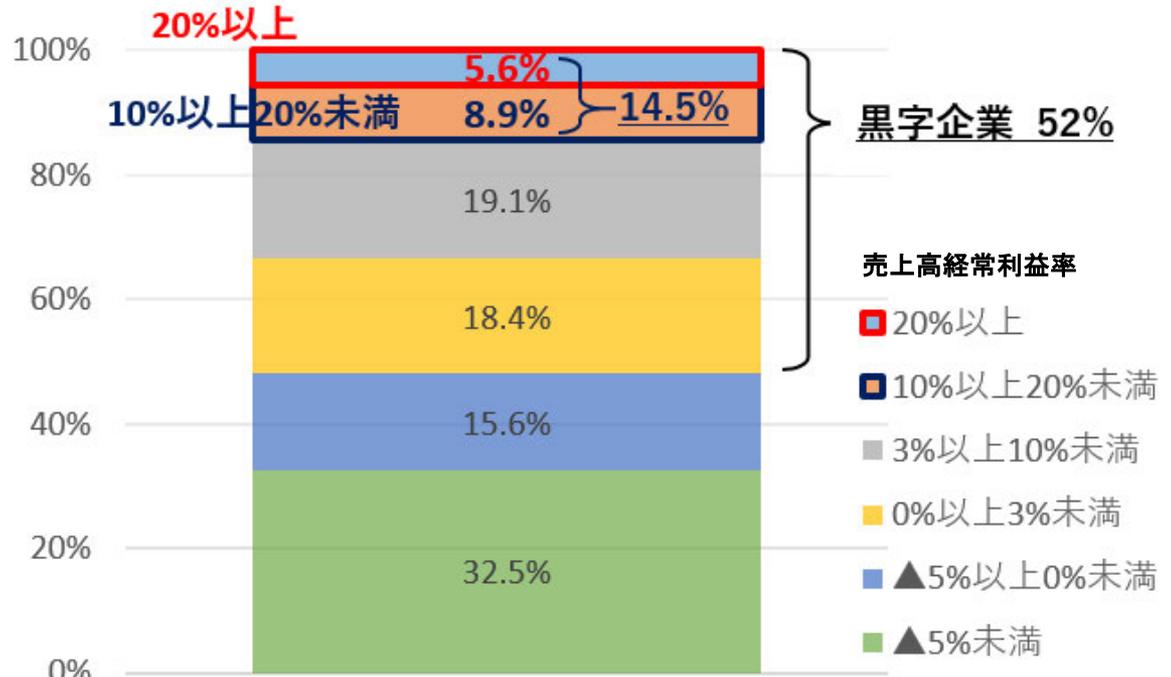
## 【(1) 規模別企業数の推移】



(出典) 中小企業白書2020

## 【(2) 休廃業・解散企業の売上高経常利益率】

(※休廃業・解散直前期の決算データによる)



(資料) 東京商工リサーチ「2019年「休廃業・解散企業」動向調査」再編加工  
(出典) 中小企業白書2020

# 地域における中小企業のウェイトと雇用のシフト

- (1) 雇用に占める中小企業の比率は、日本全国では約70%だが、東京・大阪を除いた全国平均では80%を超える。
- (2) 小規模企業の減少は都市への雇用流出に繋がり、地方の衰退を加速させている。

## 【(1) 雇用に占める中小企業の比率】

	中小企業 (中小規模)	
全国計	69%	(22%)
東京	41%	(9%)
大阪	67%	(19%)
東京・大阪以外	81%	(29%)
秋田	92%	(35%)
山梨	90%	(39%)
福井	89%	(35%)
奈良	94%	(38%)
宮崎	93%	(37%)

(出典) 中小企業白書2020

## 【(2) 従業員数の変化 (地域・規模別)】

〈2012年→2016年〉

(万人)

	地方	都市
大企業	+ 5.0	+ 56.8
中規模企業	+ 58.8	+ 93.1
小規模企業	▲ 109.2	▲ 39.4
合計	▲ 45.4	+ 110.5

トータルでは雇用拡大

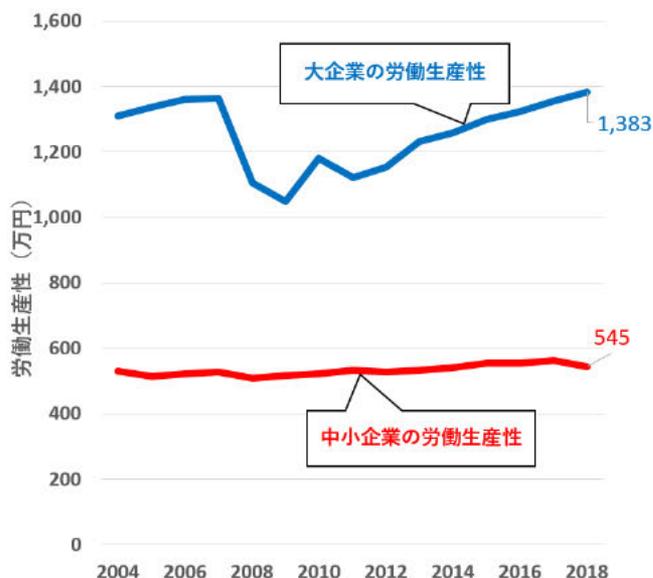
(出典) 総務省・経済産業省「平成24年・28年経済センサス活動調査」より作成

※東京都・大阪府・愛知県を都市、その他44道府県を地方として集計

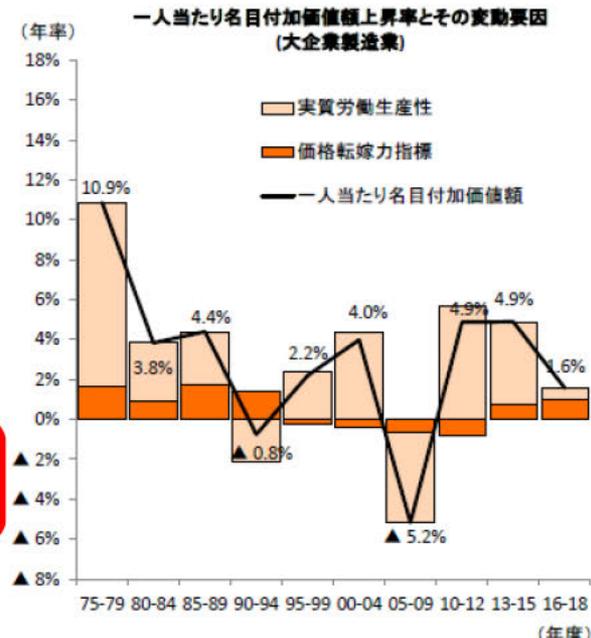
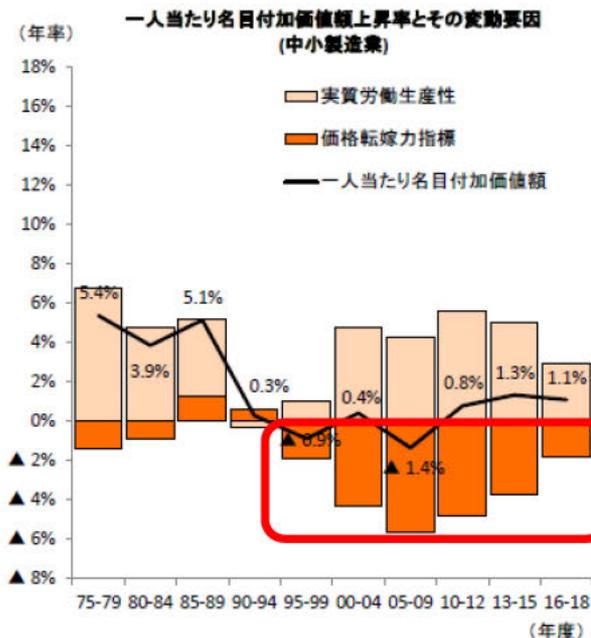
# 中小企業の生産性(大企業との対比)

- (1) 中小企業の生産性は長らく横ばい傾向で、近年、**大企業との格差は徐々に拡大傾向**。
- (2) 中小企業の**実質労働生産性の伸び率**は、総じて年率3~5%程度で、**大企業と遜色ない水準**。しかし、95~99年度以降、**価格転嫁力指標の伸び率が一貫してマイナス(赤枠部分)**であるため、中小企業の生産性の**見た目の伸び率は1%程度に低迷**。

【(1)大企業と中小企業の労働生産性推移】 【(2)企業規模別 一人当たり名目付加価値額上昇率とその変動要因(製造業)】



(出典) 財務省「法人企業統計調査(年報/2018年度)」  
 ※中小企業 資本金1億円未満 大企業 資本金10億円以上



(出典) 「中小企業白書2020」

 **日本商工会議所**